

令和8年度 社会福祉法人あぶくま福祉会 共同生活援助事業所 グループホーム・スクラム 事業計画

1. 基本方針・目的

日中の就労又は就労継続支援等のサービスを利用している障がい者に対し、地域生活を営む住居において、日常生活上の相談、介護等のサービスを提供し、日常生活上全般において支援を行う。利用者の人権を尊重し地域の中で生活していくうえで社会性の向上と自立性を高め、地域社会の一員として生活できるよう支援し、地域福祉の向上を図る。あわせて感染症の予防対策を講じ、利用者の健康維持及び健康管理を図るとともに、業務の継続に努める。

2. 定員

利用者定員 7名（令和8年3月1日現在 7名入所）

3. 職員の配置状況

職名	管理者	サービス管理責任者	生活支援員・世話人	夜勤者
人員	1名	1名	8名 (パート2名 シルバー6名)	4名 (パート2名 シルバー2名)

4. 重点目標

- (1) 意思決定を尊重し、利用者の主体的な生活を支援して行く。
- (2) 社会性と自立性の向上を促し、社会的自立向け幅広い人間性の醸成を図る
- (3) 購入車輛を有効に活用し利用者の外出や余暇活動の機会を設け、生活の充実と社会参加の促進を図る。
- (4) 地域住民との積極的な交流を地域連携推進会議を含め年2回設けることで地域のニーズに合った公益的な取り組みを行い、地域社会の一員としての自覚を図る。
- (5) 年齢や障がいに応じた支援を行うことで利用者の健康維持に努め、安心して安定した生活の実現を図る。
- (6) 感染症予防及び自然災害への研修等を年2回行い、事業の継続的な運営に努める。
- (7) 安全で新鮮な食材を使用し、栄養バランスに配慮した食事を提供する。

5. 事業所運営計画

- (1) 利用者の人権や意思決定を尊重し、本人の思いや希望を丁寧に聞き取ることで、意思に基づいた支援を行う。
- (2) 利用者への生活支援者として自覚と知識を持ち、差別なく平等に支援を行うとともに、共同生活の規範を守り、規則正しい生活が送れるよう支援する。
- (3) 地域社会の一員であることを常に自覚し、利用者の地域活動への積極的な参加を促すとともに、地域に根差した福祉サービスの担い手としての役割を果たす。
- (4) 関係機関と連携を図り利用者の状況に応じた多面的な支援に努めることで、安心して安定した生活が送れるよう支援を行う。
- (5) 利用者の精神及び身体面の変化に留意し、健康、衛生面に配慮した支援を行う。また、利用者の健康維持及び健康管理を行うことで疾病及び感染症予防に努め、業務継続を図る。

<年間行事計画>

4月	お花見	外食体験
5月	ドライブ	地域花壇植栽活動
12月	クリスマス会	
1月	新年会	
2月	節分	外食体験

※利用者の誕生月に誕生会を行う。

※毎月1回 避難訓練

年間随時 塩野川町内会との連携（公益的取組）

地域連携推進会議 1月

感染症・災害対策年2回